

2017 年度 公益社団法人 日本雪氷学会 北海道支部 総会

日時:平成 29 年 5 月 12 日(金)AM10:00

場所:北海道大学 学術交流会館

(札幌市北区北 8 条西 5 丁目)

議 事 次 第

1. 開 会

2. 支部長挨拶

3. 議 事

- (1) 2016 年度事業報告 資料 1
- (2) 2016 年度収支決算報告 資料 2
- (3) 2017 年度事業計画 (案) 資料 3
- (4) 2017 年度収支予算 (案) 資料 4
- (5) 2017 年度支部役員 (案) 資料 5
- (6) 支部規程施行内規 (改訂案) 資料 6

4. 閉 会

公益社団法人日本雪氷学会北海道支部 2016 年度事業報告

1. 支部総会の開催

開催日時：2016 年 5 月 13 日（金）10:00-10:30

開催場所：北海道大学 学術交流会館 第 1 会議室

主要議題：（1）2015 年度事業報告・収支決算
（2）2016 年度事業計画（案）・収支予算（案）
（3）2016 年度支部役員（案）について

出席者：35 名

2. 理事会の開催

第 1 回理事会

開催日時：2016 年 5 月 13 日（金）10:30-11:30

開催場所：北海道大学 学術交流会館 第 1 会議室

主要議題：（1）役割分担の確認
（2）評議員・顧問の選出
（3）その他

第 2 回理事会

開催日時：2016 年 7 月 13 日（水）15:00-17:30

開催場所：北海道開発技術センター（札幌市）

主要議題：（1）理事役割分担の確認
（2）支部予算について
（3）2016 年度研究発表会の総括
（4）「北海道の雪氷」の論文投稿状況
（5）雪氷賞の選考委員会の立ち上げについて
（6）地域講演会について
（7）雪氷教育事業（サイエンスパークほか）
（8）支部 HP の更新状況
（9）（仮）国際基準雪崩レスキュー講習会の主催について
（10）その他
（11）次回の理事会について

第 3 回理事会

開催日時：2016 年 11 月 2 日（水）15:00-17:30

開催場所：北海道開発技術センター（札幌市）

主要議題：（1）機関誌（北海道の雪氷 35 号）発行の報告
（2）雪氷賞の選考について
（3）地域講演会について
（4）サイエンスパークの報告
（5）次年度の支部予算について
（6）支部規程施行内規について
（7）第 2 回雪崩レスキュー講習会について
（8）支部 HP の更新・改修について
（9）その他
（10）次回の理事会について

第 4 回理事会

開催日時：2017 年 4 月 10 日（月）15:00-17:45

資料 1

開催場所：北海道開発技術センター（札幌市）

主要議題：（１） 2017 年度役員について
（２） 研究発表会について
（３） 2017 年度総会資料について
（４） 2016 年度地域講演会結果報告
（５） 支部 HP の更新・改修について
（６） 雪崩災害調査チーム事業報告
（７） 2018 年雪氷研究大会の北海道開催について
（８） その他

3. 顧問・評議会の開催

開催日時：2016 年 5 月 13 日（金）11:30～12:00

開催会場：北海道大学 学術交流会館 第 1 会議室

主要議題：今年度の雪氷学会北海道支部の活動予定

4. 研究発表会の開催

開催日時：2016 年 5 月 13 日（金）13:00～16:40

2016 年 5 月 14 日（土） 9:15～17:00

開催会場：北海道大学 学術交流会館 第 1 会議室

口頭発表：34 件

参加者：124 名

5. 北海道雪氷賞の表彰

○2015 年度北海道雪氷賞の表彰

以下の通り、2015 年度北海道雪氷賞の表彰式を実施。

【北の風花賞】

受賞者：森下裕士氏（北見工業大学大学院）

論文名：北極海航路の氷況と可航性に関する研究

【北の六華賞】

受賞者：八久保晶弘氏（北見工業大学）

論文名：野外におけるガス吸着式積雪 SSA 測定装置の運用

【北の蛍雪賞】

受賞者：斎藤新一郎氏（北海道開発技術センター）

受賞名：大雪や寒さと樹木被害の関係についての一連の研究

○2016 年度北海道雪氷賞の選考

以下の通り、2016 年度北海道雪氷賞を選考。

【北の風花賞】

受賞者：鍵野目純基氏（北海道文教大学大学院）

論文名：冬道歩行の健康体力科学的研究

【北の六華賞】

受賞者：大廣智則氏（ネクスコ・エンジニアリング北海道）

論文名：高速道路における凍結防止剤最適自動散布システムの試行運用状況報告

【北の蛍雪賞】

受賞者：油川英明氏（NP0 法人雪氷ネットワーク）

受賞名：雪結晶の顕微鏡写真撮影法ならびに成長論に関する独自の展開

受賞者：須田力氏（NP0 法人雪氷ネットワーク）

受賞名：豪雪地住民の身体活動の実態解明に関する調査研究と啓発活動

資料 1

6. 機関誌「北海道の雪氷」35号の刊行

発行日：2016年9月

収録論文数：34件

7. 社会貢献事業

○雪氷災害調査チームの活動

- ・第24回講演会「雪崩から身を守るために」の開催
開催日時：2016年10月15日（土）10:00～17:00
参加者：210名
開催場所：北海道大学クラーク会館講堂（札幌市）
主催：北海道大学体育会山スキー部，北海道大学山とスキーの会，雪崩事故防止研究会・（公社）日本雪氷学会北海道支部

- ・2017年2月25日ニセコ春の滝で発生した雪崩の調査
調査日時：2017年2月27日（月）
調査場所：ニセコ春の滝の雪崩事故現場の北東約2.6kmの斜面
調査内容：積雪断面調査

- ・第2回雪崩サーチ&レスキュー講習会の開催
～マニユエル・ゲンシュワインによる最新メソッド～
開催日時：2016年12月13～15日
参加者：18名
開催場所：北大手稲パラダイスヒュッテ
主催：（公社）日本雪氷学会北海道支部

○雪氷教育等

- ・「2016サイエンスパーク」への参加
開催日時：2016年7月28日（木）10:00～15:30
開催場所：札幌駅前通地下歩行空間および道庁赤れんが庁舎
主催：北海道，（地独）北海道立総合研究機構
出展：『雪の結晶を作ろう（雪氷楽会）』
内容：平松式人工雪発生装置による雪結晶観察，雪の結晶型アイロンビーズ作成
参加者：小学1年生～6年生48名

- ・「南極観測60周年記念講演会」
開催時期：2016年7月9日（土）13:00～18:00
開催場所：北海道大学学術交流会館
主催：南極OB会 北海道支部
後援：国立極地研究所
出展内容：体験学習コーナーでの実験出典

8. 支部ホームページの更新

- ・各種イベント（研究発表，地域講演会など）の告知
- ・「北海道の雪氷」公開

9. 北海道支部地域講演会

講演会名：「雪下ろしの安全対策について」

資料 1

開催日時：2017 年 1 月 21 日（土）
開催場所：上富良野町保健福祉総合センター
主 催：上富良野町社会福祉協議会
共 催：（公社）日本雪氷学会北海道支部
参 加 者：42 名

10. 雪氷関連行事の共催・後援・協力・監修（研究成果普及事業）

【後援】

- ・平成28年度第6回 紋別わくわく科学教室
開催時期：2016 年 7 月 17 日（日） 10:00-15:00
開催場所：北海道立オホーツク流水科学センター
主 催：北海道立オホーツク流水科学センター
- ・シンポジウム「北海道の吹雪災害とこれからの物流を考える」
開催時期：2016 年 11 月 15 日（火） 14:30-16:40
開催場所：TKP 札幌駅前カンファレンスセンター3B
主 催：日本気象協会北海道支社

【協力】

- ・「南極観測 60 周年記念講演会」
開催時期：2016 年 7 月 9 日（土）13:00～18:00
開催場所：北海道大学学術交流会館
主 催：南極OB会北海道支部
後 援：国立極地研究所
協力内容：体験学習コーナーでの実験出典

雪氷災害調査		2016 年度予算	2016 年度決算
収入		500,000	602,000
資産勘定(雪氷災害調査基金)からの繰入		0	0
寄附金		500,000	602,000
前期繰越金		0	0
支出		500,000	656,950
1 調査・研究	調査	500,000	656,950
	雪氷災害調査		
	旅費交通費		461,370
	謝金		45,000
	通信運搬費		0
	消耗品費		60,000
	保険料		20,300
	印刷費		70,200
	会場費		0
	振込手数料		80
収支差額		0	-54,950

雪水災害調査以外		2016 年度予算	2016 年度決算
収入合計		135,000	131,184
当期収入		135,000	131,184
事業収入	出版収入	135,000	131,184
雑収入	受取利息	0	0
	寄付金	0	0
支出合計		320,800	252,597
事業費		304,400	228,557
1 調査・研究	調査		-
2 研究会研修会	研究会発表会	82,400	74,535
	研修会等	60,000	0
	普及・啓発	26,000	16,852
	褒賞	36,000	25,272
3 出版事業	支部等機関誌	100,000	111,898
	その他出版物	0	0
管理費		65,000	24,040
	事務局費	43,500	10,050
	会場費	20,500	13,100
	支払手数料	1,000	540
	役員選挙費	0	0
	雑費	0	350
収支差額		-185,800	-121,413

2016 年度棚卸資産

棚卸資産

担当	機関誌名	原価(円)	2015 年度末(16/3/31)		2016 年度末(17/3/31)	
			在庫数	資産額(円)	在庫数	資産額(円)
	北海道の雪氷 No.34(モノクロ)	2,500	4	10,000	4	10,000
	北海道の雪氷 No.34(カラー)	6,600	2	13,200	2	13,200
	北海道の雪氷 No.35(モノクロ)	2,500	-		4	10,000
	北海道の雪氷 No.35(カラー)	6,600	-		2	13,200

2016 年度支部事業に対する受け入れ寄附金・協賛金等

	金 額	名 目	使途の目的(支部事業名)	備考
大東工業	200,000 円	寄付金	雪氷災害調査	
(株)ほくやく	400,000 円	寄附金	雪氷災害調査	
山と溪谷社	2,000 円	写真原稿料	雪氷災害調査	

資料2

2017年 5 月 2 日

北海道支部監査報告書

公益社団法人 日本雪氷学会

北海道支部長 苫米地 司 殿

公益社団法人 日本雪氷学会

北海道支部 監事 植松 孝彦 

2016年4月1日から2017年3月31日までの2016年度における北海道支部会計及び業務の監査について、次の通り報告する。

1. 監査の方法

- (1) 会計監査について、各種証憑類の確認等、会計業務の実態について確認した。
- (2) 業務監査について、事業報告書による報告を受けて、業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

(1) 会計監査

支部収支報告および証憑類を確認した結果、会計業務は適切に実施されていたことを認めます。

(2) 業務監査

支部活動報告およびその他報告資料を確認した結果、北海道支部の活動が適切に遂行されていたことを認めます。

資料2

2017年 5 月 2 日

北海道支部監査報告書

公益社団法人 日本雪氷学会

北海道支部長 苫米地 司 殿

公益社団法人 日本雪氷学会

北海道支部 監事

金田 安弘 

2016年4月1日から2017年3月31日までの2016年度における北海道支部会計及び業務の監査について、次の通り報告する。

1. 監査の方法

- (1) 会計監査について、各種証憑類の確認等、会計業務の実態について確認した。
- (2) 業務監査について、事業報告書による報告を受けて、業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

(1) 会計監査

支部収支報告および証憑類を確認した結果、会計業務は適切に実施されていたことを認めます。

(2) 業務監査

支部活動報告およびその他報告資料を確認した結果、北海道支部の活動が適切に遂行されていたことを認めます。

資料3

公益社団法人日本雪氷学会北海道支部 2017 年度事業計画（案）

1. 支部総会の開催

日 時：2017 年 5 月 12 日（金）10:00-10:30

場 所：北海道大学 学術交流会館 第 1 会議室

主要議題：(1) 2016 年度事業報告・収支決算
(2) 2017 年度事業計画案・収支予算案
(3) 2017 年度支部役員について

2. 理事会の開催

第 1 回理事会

日 時：2017 年 5 月 12 日（金）10:30-11:30

場 所：北海道大学 学術交流会館 第 1 会議室

主要議題：(1) 役割分担の確認
(2) 評議員・顧問の選出

上記を含み年 3～4 回開催する。

3. 顧問・評議員会の開催

日 時：2017 年 5 月 12 日（金）11:30-12:00

場 所：北海道大学 学術交流会館 第 1 会議室

主要議題：

4. 研究発表会の開催

期 日：2017 年 5 月 12 日（金）13:00～17:30

2017 年 5 月 13 日（土） 9:30～17:00

会 場：北海道大学 学術交流会館 第 1 会議室

5. 北海道雪氷賞の表彰および受賞論文の選考

- ・北海道における雪氷研究の活性化のために、「北海道の雪氷（第 36 号：2017）」での投稿論文または支部活動への貢献者を対象として表彰を行う。
- ・表彰選考委員会、選考基準、受賞者の決定、授章は、支部表彰規程に従う。
- ・2016 年度北海道雪氷賞の表彰は 2017 年 5 月、2017 年度受賞論文の選考は「北海道の雪氷」の発行後に実施する。

6. 機関誌「北海道の雪氷」36 号の刊行

- ・冊子体の有料化を継続する一方、電子媒体として支部ホームページ上に掲載する。

7. 地域講演会の開催

- ・第 1 回理事会にて詳細を検討する。

資料3

8. 社会貢献事業

8-1 雪氷災害調査チームの活動

- ・雪崩講演会の開催
- ・研修会の開催
- ・プレシーズンミーティングの開催
- ・雪崩災害発生への随時対応

8-2 雪氷教育等

- ・サイエンスパークへの参加
- ・開催日…平成29年7月28日（金）10時～15時30分
- ・開催場所…札幌駅前地下歩行空間、道庁赤れんが庁舎
- ・主催…北海道、地方独立行政法人北海道立総合研究機構（道総研）
- ・内容…ステージイベント、展示コーナー（簡単な科学体験や企画展示）、体験コーナー（教室形式の科学実験や工作など）

9. 支部ホームページの運営

- ・雪氷関連情報の提供
- ・会員向け情報の掲載
- ・既存ホームページ項目、およびコラムやエッセイ等の充実
- ・雪氷災害調査チームの活動報告
- ・支部活動成果の紹介：支部関連雪氷イベントのポスター、リーフレットなど
会員向け情報（総会や講演会、研究発表会など）を支部ホームページに掲載する毎に、
メーリングリスト（hokkaido@seppyo.org）を使って会員にその旨通知するサービスを継続する。

10. 雪氷関連行事の共催・後援（研究成果普及事業）

- ・研究成果普及事業の一環として、他分野や他組織による雪氷関連行事を共催又は後援する。

雪氷災害調査		2017 年度予算	2017 年度決算
収入		800,000	0
資産勘定(雪氷災害調査基金)からの繰入		0	0
寄附金		800,000	0
前期繰越金		0	0
支出	事業費 計	800,000	0
1 調査・研究	調査		
	雪氷災害調査		
	旅費交通費	500,000	0
	謝金	100,000	0
	通信運搬費	20,000	0
	消耗品費	150,000	0
	保険料	20,000	0
	印刷費	10,000	0
	会場費		0
	振込手数料		0
収支差額		0	0

雪氷災害調査以外		2017 年度予算	2017 年度決算
収入合計		130,000	0
当期収入		130,000	0
事業収入	出版収入	130,000	0
雑収入	受取利息	0	0
	寄付金	0	0
支出合計		379,500	0
事業費		296,900	0
1 調査・研究	調査	雪氷災害調査	
2 研究会研修会	研究会発表会	北海道支部研究発表会・支部表彰	0
	研修会等	北海道支部講演会	0
	普及・啓発	雪氷教育ほか	0
	褒賞	北海道雪氷賞	0
3 出版事業	支部等機関誌	北海道支部機関誌	0
	その他出版物		0
管理費		82,600	0
	事務局費	67,000	0
	会場費	13,100	0
	支払手数料	1,000	0
	役員選挙費	0	0
	雑費	1,500	0
収支差額		249,500	0

資料5

2017年度 公益社団法人 日本雪氷学会北海道支部 役員(案)

No.	職名		氏 名	所 属	年数	
1	理事	支部長	苫米地 司	北海道科学大学 学長	3	
2	理事	副支部長	杉山 慎	北海道大学低温科学研究所	1	候補
3	理事	〃	伊東 敏幸	北海道科学大学工学部建築学科	3	
4	理事	庶務担当	伊東 靖彦	(国研)土木研究所 寒地土木研究所	1	候補
5	理事	〃	大廣 智則	株式会社ネクスコ・エンジニアリング北海道	3	
6	理事	会計担当	阿部 正明	(一社)北海道開発技術センター	3	
7	理事	〃	岩間 大輔	北海道科学大学短期大学部	2	
8	理事	広報担当 HP・ML	西田 浩平	株式会社雪研スノーイーターズ	3	
9	理事	事業担当 北海道の雪氷	白川 龍生	北見工業大学地球環境工学科	3	
10	理事	〃	天見 正和	(一社)北海道開発技術センター	2	
11	理事	事業担当 研究発表会	伊藤 達人	北海道電力株式会社総合研究所	3	
12	理事	〃	飯塚 芳徳	北海道大学低温科学研究所	2	
13	理事	事業担当 地域講演会	亀田 貴雄	北見工業大学社会環境工学科	3	
14	理事	〃	高倉 政寛	(地独)北海道立総合研究機構 建築研究本部北方建築総合研究所	1	候補
15	理事	社会貢献担当 雪氷災害調査	荒川 逸人	野外科学株式会社	1	候補
16	理事	社会貢献担当 雪氷教育	杉田 明史	株式会社環器	1	候補
17	理事	〃	大宮 哲	(国研)土木研究所 寒地土木研究所	3	
18	理事	本部対応担当 本部理事	杉山 慎 (兼任)	北海道大学低温科学研究所	1	候補
19	理事	〃	金田 安弘	(一社)北海道開発技術センター	1	候補
	監事		植松 孝彦	株式会社雪研スノーイーターズ	2	
	監事		石本 敬志	(一財)日本気象協会	1	候補
1	理事	副支部長	石井 吉之	北海道大学低温科学研究所		退任
2	理事	庶務担当	武知 洋太	(国研)土木研究所 寒地土木研究所		退任
3	理事	事業担当 地域講演会	堤 拓哉	(地独)北海道立総合研究機構 建築研究本部北方建築総合研究所		退任
4	理事	社会貢献担当 雪氷災害調査	尾関 俊浩	北海道教育大学札幌校		退任
5	理事	社会貢献担当 雪氷教育	渡邊 祥史	札幌総合情報センター株式会社		退任
6	監事		金田 安弘	(一社)北海道開発技術センター		退任

資料 6

公益社団法人日本雪氷学会北海道支部 支部規程施行内規 (改訂案)

(名称)

第1条 本支部は、公益社団法人日本雪氷学会北海道支部と称する。

(事業)

第2条 本支部は、公益社団法人日本雪氷学会定款第3条に定めたこの法人の目的達成に必要な次の事項を行う。

- (1) 雪氷及び寒冷に関する調査・研究。
- (2) 雪氷及び寒冷に関する研究会、講演会、展示会などの開催。
- (3) 支部会誌その他資料の刊行。
- (4) 本部理事会が委嘱又は承認した事項。
- (5) その他この法人の目的達成に必要な事項。

(会員)

第3条 本支部の会員は、北海道に在住する公益社団法人日本雪氷学会の会員とする。また、他支部に所属する会員であっても、本支部に所属することを希望する場合は、重複所属することを妨げない。

(役員)

第4条 本支部に次の役員をおく。

支部長	1名
副支部長	若干名
支部理事	若干名
支部監事	2名

(支部長の選出)

第5条 支部長は、支部からの推薦に基づき、定款施行細則第28条により、定款第20条に定める理事の中から理事会において選出する。

(役員を選出)

第6条 副支部長、支部理事および支部監事は支部総会において、支部会員の中から選任する。

(役員の職務)

第7条 支部長は本支部を代表しその会務を総理する。

第8条 副支部長は支部長に事故ある場合、その職務を代行する。

第9条 支部理事会は、支部長、副支部長、支部理事で構成され、支部会務執行に必要な協議、支部事業の企画、会計ならびにその他の会務を行う。

- 2 支部理事会は、文書審議理事会をもって代えることができる。
- 3 支部理事会は支部長が招集し、議長は支部長とする。
- 4 支部理事会は、支部理事の3分の2以上の出席がなければ開会することができない。但し、他の出席理事に表決を委任した者及び書面にて議決に参加した者は出席者とみなす。
- 5 議事録は本規定第14条に定めるところによる。

第10条 支部監事は支部の事業ならびに会計を監査する。

(役員の任期)

第11条 支部長は本部理事会で決まり、任期を2年、再任は1回に限り可能とする。支部長を除く役員の任期は2年とし、再任は1年単位で2年までとする。その他は定款第24条の定めるところによる。

(顧問、評議員)

第12条 本支部に顧問および評議員を置くことができる。

- 2 顧問および評議員は支部理事会の議決を経て支部長がこれを委嘱する。顧問および評議員は本支部の発展に寄与するものとする。
- 3 評議員および顧問の任期は2年とし、再任を妨げない。

資料 6

(総会)

第13条 本支部は毎年1回定時総会を開くほか必要に応じ臨時総会を開く。

- 2 議長は出席者の互選とする。
- 3 総会においては下記事項の承認を受けなければならない。
 - (1) 会務ならびに会計の報告
 - (2) 新年度の事業計画
 - (3) 役員の決定
 - (4) 施行内規の変更
 - (5) その他重要な事項
- 4 議事録は本規定14条に定めるところによる。

(議事録)

第14条 支部理事会及び支部総会の議事録は議長が作成し、速やかに支部ホームページに掲示し、支部会員の閲覧に供さなくてはならない。

~~(資産及び会計)~~

~~第15条 本支部の資産は次の通りとし、支部長がこれを管理する。~~

- ~~1. 本部からの交付金~~
 - ~~2. 寄付金~~
 - ~~3. その他~~
- ~~2 本支部の会計年度は、毎年4月1日より翌年3月31日までとする。~~

附 則

本内規は平成25年5月17日より施行する。

この規程の一部を改訂し、平成29年5月13日から施行する。(資産及び会計に関する第15条を削除)